

地球環境を守る取組み

気候変動リスクを低減し、豊かな地球を守ります

CSR重要課題 | 生物多様性の保全



九電グループが100年以上育て、守り続けている社有林(大分県由布市)

国内で約4,000種もの生き物が絶滅の危機にあるといわれています

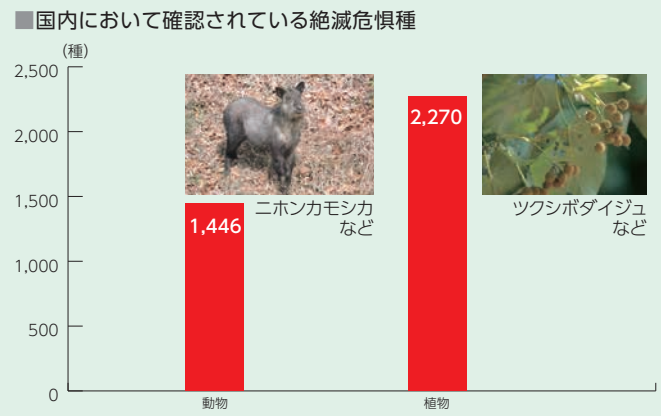
生物多様性の保全に向けた環境活動に取り組んでいます

近年、世界中で多くの動植物が絶滅の危機に瀕しており、国内でも多くの絶滅危惧種が確認されています。森林の乱開発や人間が持ち込む外来種の影響をはじめ、過疎化などにより、これまで人間が整備してきた田んぼ・小川などの里地里山が維持できなくなるなど、生物に与える影響は深刻化しています。

九電グループは、生物多様性の保全に向けて、「人と自然と、つくるみらい」をスローガンに、地域と一体となった環境保全活動や、環境教育による環境意識の啓発に取り組んでいます。



社有林「くじゅう九電の森」での植樹活動



生物多様性が失われると何が問題なの？

生物の多様性が私たちの生活に恵みを与えています

地球上には、約3,000万種もの多様な生き物が存在しており、それらが直接的、間接的に関わり合う「生態系」を構成しています。私たちの暮らしも、食料や水、気候の安定など、生物多様性からもたらされる様々な恵みによって支えられています。

生物多様性を守るためには、希少動植物の保護や、多くの動植物が生息・生育する森林や海川、里地里山の保全など、自然環境を守る取組みが重要です。

■社有林「くじゅう九電の森」における多様な動植物



クサギ

リスアカネ

ツチアケビ

二ホンジカ

九州の豊かな自然を未来につなげる取り組み

〔環境保全活動〕



詳細はこちら▲

地域の皆さまとともに環境保全活動を行っています



海岸における清掃活動(福岡県福岡市)



NPO法人と連携した植樹活動(鹿児島県加世田市)

〔環境教育〕



詳細はこちら▶

子どもたちに環境への「学び」や「体験」の場を提供しています



小学生を対象とした出前授業の様子(鹿児島県鹿児島市)



「きゅうでんプレイフォレスト」の様子(長崎県長崎市)

■エネルギーデジタルライブラリーの開設

コロナ禍における教育分野でのDX(デジタルトランスフォーメーション)の進展を踏まえた新たなアプローチの一環として、九州電力(株)ホームページ上に「エネルギーデジタルライブラリー」を一部開設しました。

「ライブラリー」は、学校などで行ってきた環境・エネルギー教育活動をデジタルコンテンツ化して公開し、環境やエネルギーについていつでもどこでも自由に学習ができる「インターネット上の図書館」を目指しています。

主に小中学生を対象としたコンテンツを掲載していますが、今後、小学生から社会人までの幅広い方を対象としたコンテンツを制作し、ライブラリーを充実させていきます。



九州電力エネルギーデジタルライブラリー [検索](#)



ずっと先まで、明るくしたい。

九電みらい財団による環境活動



▲ホームページ



▲Facebook



▲Instagram

九電みらい財団は、豊かな自然を守り続けること、子どもたちが輝く「みらい」につなげていくことを目的として設立された財団法人です。

子どもたちの自然を大切にすることを育む環境教育や、ラムサール条約に登録された大分県竹田市の坊ガツル湿原一帯において、希少な生き物や美しい景観を守るための環境活動に取り組んでいます。



平治岳における「ミヤマキリシマの植生保護活動」



害虫を駆除し植物の芽吹きを促す目的で実施する坊ガツル湿原の「野焼き」の様子